

2 地域における普及活動実績

環境と経営の見直しによる地域振興作物の安定生産 ～土を育て 人を育て おすすめの新ひだか町の農業～

◆活動年次：令和3年～令和7年度

(課題番号 1)

◆対象：新ひだか町静内東別3農事組合地区(12戸)

1 活動の背景

(1)活動地域では、地域振興作物の園芸作物(ミニトマト、花きなど)、和牛の生産を行っており、耕種経営ではミニトマト生産が盛んである。

(2)新規参入者、若手経営者、後継者は園芸作物を中心に経営を開始している。

(3)昨年までの活動で土壌物理性改善への意識が高まっている。

(4)地域の担い手からは所得率向上に向けて、経営状態をより把握したいとの声も多い。

2 活動の経過

○土壌の環境改善による作物の安定生産

排水不良

- 雨水等の流入防止
- 排水促進

心土破碎の実施を提案

土壌物理性を改善し、作物の生育をよりよくする。

緑肥は、栽培時期や目的に応じた品目を選定

農業者と根張りの状況を確認

○担い手の経営管理能力の向上

新規就農者(3戸)のミニトマト栽培の課題を確認する。

【農業者】作業記録簿を記帳


【関係機関】かん水量を測定

【普及センター】作業記録簿と生育から見た改善提案

3 成果の具体的内容


○土壌の環境改善による作物の安定生産

花き農業者はサブソイラで心土破碎を実施




ほ場の排水改善が見られ、R2の生育不良箇所は改善された。

R3は高温障害発生



農業者

緑肥作付け後のミニトマトは生育が良かった感じがするよ




土壌物理性の改善を目的に2戸で緑肥導入を検討

目的に応じた品目の選定の重要性も理解された

○担い手の経営管理能力の向上

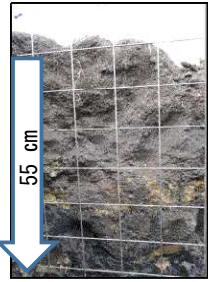
管理作業の見える化を進めた。




農業者

見える化で施肥や防除だけでなく、かん水量も見直すきっかけになるね


かん水の意識が「時間」から「量」を重視するようになった。



R2



R3



農業者


今年は、暑かったから、かん水が多くなったよ。

根量が少なく、土壤水分が多い

気象状況に合わせた管理だけでは、根張りに影響することが理解された。

4 今後の対応

懇談会では、農業者が抱える課題や実践方法について意見交換が進んだ。



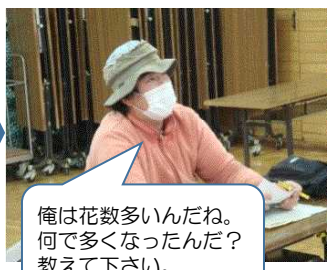
俺はいろんな緑肥を試してるよ。

どの緑肥使ってます？

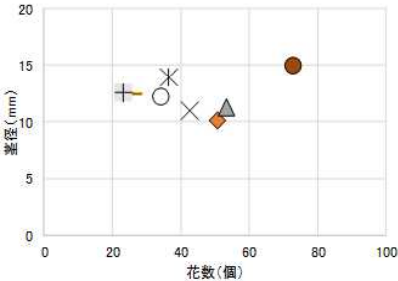
ハウスに水が入るなら、「矢板」も意外と効果あるんだよ。こんな風につくるのさ。

緑肥の効果と、農業者が実践している、雨水流入防止策の検証

作業記録簿や生育調査から、農業者間の差を確認した。



俺は花数多いんだね。何で多くなったんだ？教えて下さい。



花数と莖径の関係（主枝1段目）

| 花数 (個) | 莖径 (mm) |
|--------|---------|
| 25 | 13 |
| 35 | 14 |
| 45 | 11 |
| 55 | 12 |
| 75 | 15 |

ミニトマトを中心とした、育苗管理改善の効果確認

定植後の管理改善策の提案と効果確認